

平成 25 年度 事業報告  
(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人佐川がん研究振興財団

本年度は、がんの基礎研究と応用治療に対する研究開発等の活動を支援し医療福祉の向上に寄与するとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する研究助成事業、褒賞事業、及びそれらの研究成果報告集の刊行、並びにがんに関する講演会及び市民講座を実施した。

I 事業の概要

1 助成事業・褒賞事業

(1) 第 25 回佐川がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とすることとし、大学、研究機関、医療機関等の長に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、本件周知を依頼した。また、同時に当財団ホームページに応募要項、申請書及び推薦書を掲載し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 25 年 6 月 30 日までに 77 機関から 183 件の申請を受理し、理事会にて選任された選考委員による事前審査を行い、その審査結果を基に選考委員会において総合的に審議し、助成対象者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：14 件 金額：1,400 万円（1 件当たり 100 万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
金田 篤志	千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学教授 肺小細胞癌における EZH2 高発現に対する分子標的治療へ向けた基盤研究	
川上 隆史	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系特任研究員 非天然型大環状ペプチドの大規模ライブラリーからの抗がん剤候補の同定	
佐野 紘平	京都大学医学部附属病院放射線部助教 がんの核医学診断／光イメージングを達成しうるハイブリッド型デュアルモダリティイメージングプローブの開発	
塩田 真己	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野助教 キノーム解析による去勢抵抗性前立腺癌発症機序の解明およびその治療応用	
神力 悟	熊本大学医学部附属病院中央検査部特任助教 静止期癌細胞モデルの確立とその tumor dormancy 制御への応用	
末原 義之	順天堂大学医学部整形外科科学講座助教 骨軟部肉腫チロシンキナーゼ融合遺伝子の網羅的探索	

杉町 圭史	九州大学病院別府病院外科講師（診療准教授） 肝細胞癌の術後再発を予測する新たなバイオマーカーとしてのエクソソーム内マイクロ RNA の解析
平 直江	東京慈恵会医科大学大学生化学講座助教 癌でみられるオーロラ B キナーゼの発現制御異常の起因とその腫瘍学的意義の解明
建部 恒	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 細胞シグナル研究室助教 細胞内シグナル「ハブ」TORC2 複合体を標的とする新奇ガン治療創薬基盤
南保 明日香	北海道大学大学院医学研究科細胞生理学分野准教授 Epstein-Barr ウイルス感染細胞が放出する細胞外小胞エクソソームの機能解析
廣田 耕志	首都大学東京理工学研究科分子物質化学専攻生物化学教室教授 遺伝子シナジーを作用原理とするガン治療薬品の探索
廣橋 良彦	札幌医科大学病理学第一講座助教 ヒトがん幹細胞標的ペプチドワクチン療法の開発
福田 晃久	京都大学医学部附属病院消化器内科医員 膵臓癌におけるクロマチンリモデリングの役割
山口 英樹	国立がん研究センター研究所転移浸潤シグナル研究分野ユニット長 スキルス胃癌細胞と間質線維芽細胞の相互作用を制御する新規治療標的分子の同定

## (2) 第 11 回佐川特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成 25 年 6 月 30 日までに 7 件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：1000 万円（1 件当たり 500 万円）

栗和田賞：彫刻家・笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
今井 浩三 氏	東京大学医科学研究所附属病院長・抗体ワクチンセンター長 免疫細胞・薬物送達のための革新的抗体薬の開発	
森 正樹 氏	大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授 消化器癌の癌幹細胞研究	

## (3) 第 11 回佐川看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成 25 年 6 月 30 日までに 11 件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得

て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田賞：彫刻家・笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
荒尾 晴恵 氏	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 がん患者のセルフケアに着目した症状マネジメントに関する研究	
越智 幾世 氏	京都府立医科大学附属病院外来化学療法部副看護師長 「外来化学療法を受ける患者の口内炎が及ぼす QOL への影響」 ～GOHAI（口腔に関連した QOL 尺度）による実態調査～	

#### (4) 授与式・授賞式の開催

第 25 回佐川がん研究助成金受領者を対象とした研究助成金授与式及び第 11 回佐川特別賞、第 11 回佐川看護特別賞授賞式、並びに第 10 回佐川特別賞受賞者、第 10 回佐川看護特別賞受賞者による記念講演会を次のとおり開催した。

日時	平成 25 年 11 月 30 日（土）11:00～12:45
場所	ウェスティン都ホテル京都 4 階 瑞穂の間
内容	第 25 回佐川がん研究助成金授与式 第 11 回佐川特別賞・佐川看護特別賞授賞式 第 10 回佐川特別賞受賞者記念講演 「早期肺がんに対する新たな治療法 — 定位放射線治療の開発と普及に向けて —」 平岡眞寛氏（京都大学大学院医学研究科教授） 第 10 回 佐川看護特別賞受賞者記念講演 「外来通院がん患者と家族の主体性を活かす外来看護実践」 佐藤まゆみ氏（千葉県立保健医療大学健康科学部教授）

#### (5) 研究成果報告集の刊行

第 24 回佐川がん研究助成金受領者及び第 10 回佐川特別賞、第 10 回佐川看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果と平成 25 年度の事業報告を掲載し、「2013 佐川がん研究報告 Vol.24」を平成 26 年 3 月に 650 部発行し、全国の大学、病院等の研究機関、図書館等に配布した。

なお、第 24 回佐川がん研究助成金受領者のうち 1 名について研究報告に論文未発表内容を含むため、次号以降の掲載を予定している。

## 2 がんに関する市民講座の開催

第 12 回市民公開講座を次のとおり開催した。

## 第12回市民公開講座

「輝いて生きる」—がん患者の充実した人生をめざして—

日 時	平成26年2月16日（日）13:00～15:50
場 所	よみうりホール（東京都千代田区）
内 容	<p>基調講演</p> <p>「患者さんに優しいがん治療」 北島政樹氏（国際医療福祉大学学長）</p> <p>「がんへの国の取り組み」 林修一郎氏（厚生労働省がん対策推進官）</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>「クオリティーの高い人生をめざして」 司会：北島政樹氏</p> <p>パネリスト：</p> <p>「抗がん剤治療における患者さん・ご家族への対応について」 小泉和三郎氏（北里大学医学部消化器内科学主任教授）</p> <p>「心のケアと就労支援におけるグループ療法の意義」 保坂隆氏（聖路加国際病院精神腫瘍科部長）</p> <p>「患者・家族を支える取り組み」 林修一郎氏</p> <p>「がんになっても安心して暮らせる社会に向けて」 天野慎介氏 （一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長）</p> <p>「患者・記者の立場から」 本田麻由美氏（読売新聞東京本社編集局社会保障部記者）</p>
コーディネーター	北島政樹氏 平岡眞寛氏（京都大学大学院医学研究科教授）
司 会	植月百枝氏（フリーアナウンサー）
参加者数	1,100名
後 援	公益財団法人日本対がん協会
協 力	SGホールディングス株式会社 佐川急便株式会社 佐川アドバンス株式会社 SGホールディングスグループ健康保険組合

## II 処務の概要

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

理事 定数：6名以上 12名以内 現在：10名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	就任	再任	所属・役職等
理事長	栗和田 榮一	2010.12.6	2012.6.21	SG ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長／佐川急便株式会社社長
理事	東 市郎	2010.12.6	2012.6.21	北海道大学名誉教授（元副学長）
理事	飯吉 厚夫	2010.12.6	2012.6.21	学校法人中部大学理事長・総長
理事	上田 龍三	2010.12.6	2012.6.21	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授／名古屋市立大学名誉教授・顧問
理事	北島 政樹	2010.12.6	2012.6.21	国際医療福祉大学学長
理事	河野 伊一郎	2010.12.6	2012.6.21	独立行政法人国立高等専門学校機構顧問／岡山大学名誉教授（元学長）
理事	佐川 光	2010.12.6	2012.6.21	佐川急便株式会社理事／SG ホールディングスグループ健康保険組合理事長
理事	高折 修二	2010.12.6	2012.6.21	高折病院顧問／京都大学名誉教授／島根医科大学名誉教授（元学長）
理事	高月 清	2010.12.6	2012.6.21	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員／熊本大学名誉教授
理事	平岡 眞寛	2010.12.6	2012.6.21	京都大学大学院医学研究科教授（放射線腫瘍学・画像応用治療学）
監事	今尾 金久	2010.12.6	—	公認会計士、米国公認会計士
監事	奥村 和義	2010.12.6	—	税理士

#### (2) 評議員に関する事項

評議員 定数：6名以上 12名以内 現在：10名 任期：4年

	氏名	就任	再任	所属・役職等
評議員	赤池 昭紀	2010.12.6	—	名古屋大学大学院創薬科学研究科教授／京都大学客員教授・名誉教授
評議員	佐谷 秀行	2010.12.6	—	慶應義塾大学医学部先端医科学研究科教授（遺伝子制御研究部門）
評議員	武藤 誠	2010.12.6	—	京都大学大学院医学研究科学内非常勤講師／京都大学国際高等教育院教授
評議員	辻尾 敏明	2010.12.6	—	SG ホールディングス株式会社特別顧問
評議員	寺地 敏郎	2010.12.6	—	東海大学医学部教授（外科学系泌尿器科学）
評議員	野口 眞三郎	2010.12.6	—	大阪大学大学院医学系研究科教授（乳腺・内分泌外科学）

評議員	野田 亮	2010.12.6	—	京都大学大学院医学研究科教授（分子腫瘍学）
評議員	畠 清彦	2010.12.6	—	がん研有明病院部長（血液腫瘍科）
評議員	三木 恒治	2010.12.6	—	京都府立医科大学大学院医学研究科教授（泌尿器外科学）
評議員	三嶋 理晃	2010.12.6	—	京都大学医学部附属病院病院長

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：3名以内 現在：2名 任期：2年

	氏名	就任	再任	所属・役職等
顧問	垣添 忠生	2010.12.6	2012.6.6	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	山岸 久一	2010.12.6	2012.6.6	京都府地域医療支援センター長／京都府特別参与／前京都府立医科大学学長

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25 年 6 月 11 日	平成 24 年度事業報告並びに計算書類及び財産目録承認の件	承認
	運営企画委員内規（案）承認の件	承認
	運営企画委員選任の件	承認
	事務長承認の件	承認
	評議員会の日時、場所並びに目的である事項の件	承認
	財団の運営基盤及び機能強化に向けた改革検討について	報告
平成 26 年 3 月 19 日	「平成 26 年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件	承認
	平成 25 年度 6 月理事会以降の職務執行状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25 年 6 月 26 日	評議員会議長選任の件	承認
	平成 24 年度事業報告並びに計算書類及び財産目録承認の件	承認
	基本財産運用規定（案）承認の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	平成 25 年度事業計画並びに収支予算について	報告
	事務長について	報告

(3) 各種委員会

① 第 25 回佐川がん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	結果
平成 25 年 9 月 18 日	平成 25 年度「佐川がん研究助成」選考に関する件	助成対象者を選出

② 第 11 回佐川特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	結果
平成 25 年 9 月 17 日	第 11 回（平成 25 年度）「佐川特別賞」選考に関する件	授賞対象者を選出

③ 第 11 回佐川看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	結果
平成 25 年 9 月 11 日	第 11 回（平成 25 年度）「佐川看護特別賞」選考に関する件	授賞対象者を選出

3 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
平成 25 年 6 月 27 日	事業報告等の提出
平成 26 年 3 月 24 日	事業計画書等の提出

4 寄附収入に関する事項

寄附者	寄附の目的	寄附金額
佐川急便株式会社	公益事業目的発展のため	31,000,000 円
SG ホールディングス株式会社	公益事業目的発展のため	6,000,000 円
SG システム株式会社	公益事業目的発展のため	5,000,000 円
SG リアルティ株式会社	公益事業目的発展のため	5,000,000 円
佐川アドバンス株式会社	公益事業目的発展のため	3,000,000 円
SG モーターズ株式会社	公益事業目的発展のため	2,000,000 円
佐川グローバルロジスティクス株式会社	公益事業目的発展のため	2,000,000 円
佐川フィナンシャル株式会社	公益事業目的発展のため	2,000,000 円
佐川印刷株式会社	公益事業目的発展のため	1,000,000 円

## 附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 6 月

公益財団法人 佐川がん研究振興財団